すたぺんドリル 小学校高学年 「ことわざ」問題 ⑦

日付	名前
月　日	

問題 次のことわざの意味をア～シから選んで〔　〕に書きましょう。（国語辞典などを使って調べてみましょう。）

① 千里の道も一歩から　〔　　〕

② 袖振り合うも多生の縁　〔　　〕

③ 備えあれば患いなし　〔　　〕

④ 損して得取る　〔　　〕

⑤ 大は小を兼ねる　〔　　〕

⑥ 宝のもち腐れ　〔　　〕

⑦ 多勢に無勢　〔　　〕

⑧ 立つ鳥跡を濁さず　〔　　〕

⑨ 立て板に水　〔　　〕

⑩ 蓼食う虫も好き好き　〔　　〕

⑪ 棚から牡丹餅　〔　　〕

⑫ 旅は道連れ、世は情け　〔　　〕

意味

ア　ちょっとした出来事も、すべて前世からの深い因縁であるということ。
イ　一時は損をしても、将来的に大きな利益になって返ってくるように考えよということ。
ウ　辛い蓼を食う虫もあるように、人の好みもさまざまであること。
エ　思いがけない良い運がめぐってくること。
オ　弁舌がすらすらとしてよどみのないさまのこと。
カ　大人数に少人数で立ち向かっても勝ち目がないこと。
キ　旅では道連れがいればたがいに助け合い、世渡りでは同情をもってたがいに仲良くやるのが良いこと。
ク　役に立つものを持ちながらそれを利用しないこと。また、才能がありながら生かしきれていないこと。
ケ　ふだん準備がしてあれば、万一の事態が起きても心配しないですむということ。
コ　大きいものは小さいものの代わりにも用いることができるということ。
サ　立ち去るときは、跡を見苦しくしないようによく始末するべきであること。
シ　どんなに大きな事業でも、手近なところから着実に努力を重ねていけば成功するという教えのこと。